

## 会 議 録 (要 旨)

|   |   |  |
|---|---|--|
| 会 議 名                                       | 令和 6 年度瑞穂町子ども・子育て会議（第 3 回）  |  |
| 開 催 日 時                                     | 令和 6 年 8 月 5 日（月）午後 6 時 30 分から午後 7 時 43 分まで   |  |
| 出席者及び<br>欠 席 者                              | 【出席者】委員 9 名、事務局 3 名、関連部署職員 5 名、コンサルタント 2 名、合計 19 名<br>【欠席者】委員 3 名   |  |
| 次 第   | 1 開 会<br>2 会長あいさつ<br>3 議題<br>（1）教育、保育等の見込量について<br>（2）子どもの意見聴取について<br>（3）その他<br>4 その他<br>5 閉 会                                     |  |
| 傍 聴 者                                       | 1 名   |  |
| 配 布 資 料                                     | 当日配布 ・ 次第<br>・ 【資料 1】子ども・子育て支援事業計画に係る「量の見込み」及び「確保方策」（暫定案）について<br>・ 【資料 2】子どもの意見聴取の実施について<br>・ 瑞穂町子ども・若者の生活実態調査<br>・ 瑞穂町子ども計画構成（案） |  |
| 会 議 内 容<br>（主な意見<br>等を原則と<br>して発言順<br>に記載。） | 1 開 会<br>（会長）<br><br>2 あいさつ<br>（会長）   | <p>本日の出席委員は 9 名である。瑞穂町子ども・子育て会議第 7 条の規定に基づき、半数以上の委員の出席により会議が成立となるため、開会する。</p> <p>子どもたちにとって 7 月 20 日から、とても暑い夏休みをスタートして今日で 17 日目ということで真ん中に来ている。</p> <p>気になる事としましては、最近よく話題にする体験格差という問題。</p> <p>15 年～20 年前、子どもたちに「夏休みはどうだったか」と聞くと、ほとんどの子どもたちが「楽しかった」「遠出をした」「面白かった」という意見や感想が聞かれたが、最近は「つまらなかった」「暇だった」、「面白くなかった」という意見が割と聞かれている。子どもたちにとって夏休みといえば、普</p> |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  | <p>段できない体験をするという事で、旅行や海水浴、キャンプに行く、もしくは習い事等、色々ことに充実できる家庭がある一方で、親の仕事が忙しい為にやる事がなくゲーム三昧、もしくは昼まで寝て、1日2食という生活をしている子どもたちもあり、体験格差問題は本当に考えていかないと、と思う。</p> <p>私たちのこの会議では「こどもまんなか社会」という部分の実現に向けて、できるだけ多くの子どもたちや若者、子育て世代の人たちの意見を聞くという事で、素晴らしいアンケートができたと思う。</p> <p>その他、次の提案ということでオープンハウス方式の調査で、子どもたち、若者たちの意見聴取に関する提案があると思います。可能な限りたくさんの意見を集約して、子どもが真ん中の社会の実現へ向けて、良いまちづくりができるようにしていければいいと思う。</p> <p><b>3 議題</b><br/>(コンサルタント)</p> <p>(会長)</p> <p>(事務局)</p> <p>(会長)</p> | <p>段できない体験をするという事で、旅行や海水浴、キャンプに行く、もしくは習い事等、色々ことに充実できる家庭がある一方で、親の仕事が忙しい為にやる事がなくゲーム三昧、もしくは昼まで寝て、1日2食という生活をしている子どもたちもあり、体験格差問題は本当に考えていかないと、と思う。</p> <p>私たちのこの会議では「こどもまんなか社会」という部分の実現に向けて、できるだけ多くの子どもたちや若者、子育て世代の人たちの意見を聞くという事で、素晴らしいアンケートができたと思う。</p> <p>その他、次の提案ということでオープンハウス方式の調査で、子どもたち、若者たちの意見聴取に関する提案があると思います。可能な限りたくさんの意見を集約して、子どもが真ん中の社会の実現へ向けて、良いまちづくりができるようにしていければいいと思う。</p> <p><b>(1) 教育、保育等の見込量について</b></p> <p>※(資料1)『子ども・子育て支援事業計画に係る「量の見込み」及び「確保方策」(暫定案)について』を用いて説明を行う。</p> <p>資料8ページにもあるように、地域子ども・子育て支援事業の13事業の中から出した見込み量に対する確保方策については、新たに町の方でいろんな政策をしているとは思う。</p> <p><b>(2) 子どもの意見聴取方法について</b></p> <p>※(資料)『子どもの意見聴取の実施について』を用いて説明を行う。</p> <p>子どもの意見聴取の実施概要について事務局から、案1「瑞穂町こどもフェスティバル」で聴取、案2「瑞穂町産業まつり」で聴取、もしくは両案を実施するという考え方があると思うが、意見や質問はあるか。</p> |
|--|--|---|

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>(委員)</p> <p>(会長)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(会長)</p> | <p>誰が意見聴取するのか、小学生向けのパネル的説明はどうするのか。</p> <p>先に、幼稚園・保育園の子ども、小学生、中学生、高校生あるいは子育て世代か、どの範囲の子どもたちを対象に聴取するのかを事務局に伺いたい。</p> <p>対象者は小学生・中学生から若者世代、子育て世代も含まれるであろう 39 歳までが想定されるが、幅広く聴取していきたい。</p> <p>幅広い層を対象にすると、年代によっては難しい部分があるので質問項目はこれから検討したい。</p> <p>意見聴取を行うスタッフは、事務局でと考えている。コンサルタントの協力もあればお願いしたい。イベントの手伝い等で参加される委員の方もいると思うので、少し空いた時間にでも協力をお願いしたい、と考えている。</p> <p>パネル的な説明は行わないのか。</p> <p>コンサルタントが他の自治体で使っているものがある。「こどもまんなか社会」の話や、あとは意見を聞いてどういう形で町をつくっていくかという話を子どもたちに説明し、見た人が分かるような形で「こういう意見があり、こうしていきます」という流れを見せることができればよいと思う。</p> <p>集めた意見は、集約して公表しないのか。</p> <p>広報は紙面が狭いので難しいが、学校やホームページで公表していきたいと思う。</p> <p>現在行っているアンケートも、オープンハウス方式での意見聴取も、「こどもまんなか社会」の入口であって、子どもの意見を聴いてどう反映していくかを、しっかり提示しないといけない。</p> |
|--|---|--|

|              |  |
|--------------|--|
| <p>(委員)</p>  | <p>子どもたちは遊べるブースに行ってしまう。入口の横だったとしても、アンケートには協力してもらえない。たくさんの子どもが集まるように、アンケートに参加すると何か貰えるプレゼントがあればいいと思う。子どもたちに還元するもので何かないか。</p>   |
| <p>(事務局)</p> | <p>みずほまるのグッズなどを配布できるか、担当部署に確認してみる。</p>   |
| <p>(委員)</p>  | <p>景品を用意するのが難しいのであれば、他のブースも巻き込んだスタンプラリーにして、最後のアンケートを1個のスタンプとすればよいのではないか。</p>   |
| <p>(事務局)</p> | <p>スタンプラリーは良い案だと思うため、検討する。</p>   |
| <p>(会長)</p>  | <p>実施概要について、瑞穂町こどもフェスティバル、瑞穂町産業まつり、もしくは両方と3案が提案されているが、どうするか。(多数決をとる)</p> <p>(多数決の結果、両方で意見を聞く事に決定)</p>  |
| <p>(会長)</p>  | <p>両方の機会で聞いた方がよい。</p> <p>子どもの意見聴取の方法や、意見聴取項目についてはいかがか。</p> <p>子どもの意見聴取の実施方法として、投票ボードを使う、アンケートを取るという2案がでていますが、意見聴取項目と絡んでくる。</p> <p>例えば「瑞穂町の好きなところ」を聞く場合、アンケートの場合はそのまま記入すればよいが、投票ボードの場合にはあらかじめ好きなところについての項目の候補を書いておいて投票してもらうという形になる。「良くしたい所」という項目を同じような方法でしていくという事なのか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>ボードの場合は事務局で回答の候補をあらかじめ</p>  |

|      |  |   |
|------|--|---|
|      |  | <p>め決めておく。「その他」という項目を選んだ場合に、聞き取りをするというイメージを想定している。</p> <p>アンケートもよいが、イベントで行う場合だと面倒な部分もあるので、シールを貼るような投票ボードという想定をしている。</p> |
| (委員) |  | <p>記述は、「願い」みたいなものだったらいいかもしれない。シールの方は、ニーズの中から選択肢を決めていけば良い。</p>   |
| (会長) |  | <p>投票とボードの場合、聞く項目が変わってくるのでやり方を考えていかなければならない。</p>  |
| (委員) |  | <p>来ている人はイベントを楽しみにして来ているので、意見聴取はできるだけ短時間で気軽に終わるものがよい。</p>   |
| (会長) |  | <p>瑞穂町産業まつり、瑞穂町こどもフェスティバルには遊びが目的で来ているので、よほど魅力的なものをやらないと興味をもってくれない。</p>  |
| (委員) |  | <p>投票形式など、出来るだけ簡単なものにしてほしい。</p>   |
| (委員) |  | <p>低学年には記述は無理なので、できるだけ簡単にしてほしい。「瑞穂町の好きなところ」を子どもに聞くのは無理がある。シールを貼ることを目的にってもらうなど、子どもも、目的がないとブースには来ない。全体を巻き込めればいい。</p>      |
| (委員) |  | <p>スタンプラリーという意見は、共感する。友達同士の会話で情報が拡散していくので、いい考えだと思う。</p>   |
| (委員) |  | <p>P T Aでもスタンプラリーをやるかもしれないので、被らない様にしてほしい。</p>   |

|  |          |   |
|--|----------|---|
|  |          | <p>投票ボードはいいと思うが、選択肢が限られてしまうのが難しいだろう。子どもにアンケートを行ったら、生物を増やす、森を増やす、ごみを無くす、ということ書いていた。そのような意見でもいいか。付箋は、友達同士で来たら書くかも知れないが、なかなか立ち止まっては書かないだろう。</p>  |
|  | (会長)     | <p>幅広い意見を聴く、という意味では、色々と書いてもらいたい。</p>  |
|  | (委員)     | <p>投票ボードがいいと思う。シールを貼ることが簡単で楽しい。付箋も難しいが少人数でもやったほうがいい。最終的に意見を集約して学校等に掲示するなら、「あなたの意見が町に届きますよ」「意見を言ったら公園や遊園地ができるかも」など子どもたちに夢のあるフレーズがあると、ブースに来てくれるかも。</p>  |
|  | (副会長)    | <p>スタンプラリーは大人でも楽しいだろうなと思うし、投票ボードにシールを貼るくらいなら、子どもたちも楽しんでやってくれるかもしれない。</p>  |
|  | (関連部署職員) | <p>スタンプラリーの話がありましたので、こどもフェスティバルに関して、去年の状況等を報告します。今後、実行委員会で話し合いをしますが、スタンプラリーは去年と同様に行う予定であり、全部のブースを回ったら「みずほまる」のグッズをプレゼントしようと思っている。</p> <p>実行委員会の話し合いでは、子育てのブースを1枠設けるという提案をしようと思っている。</p> <p>また、去年は雨だったが、大人を含め780人ほど来ていた。子どもは半分の人数かもしれないが、人数分の投票シールを貼るスペースやものが用意できればと思う。</p> |
|  | (事務局)    | <p>子ども計画を策定するに当たって、国のガイドラインでは子どもの意見を聴くようにと示されてい</p>   |

|                       |   |
|-----------------------|---|
|                       | <p>る。国連で子どもの権利条約が採択され、「子どもは大人の従属物ではない。子どもも、一人の権利や意見を持った人間として扱われなければいけない」ということが出発点である。</p> <p>子どもが意見を言うことで、社会が反応していくことを小さいときから体験すると、社会参画できる大人になるかもしれない。</p>                            |
| (会長)                  | <p>子どもたちに調査の意義などを伝えてもらえると、より意見を出してくれるかもしれない。</p>  |
| (事務局)                 | <p><b>(3) その他</b></p> <p>※(資料)『瑞穂町子ども若者の生活実態調査』を用いて、調査の実施状況の報告を行う。</p>  |
| (コンサルタント)             | <p>※(資料)『瑞穂町子ども計画構成(案)』を用いて説明を行う。</p>   |
| (会長)                  | <p>瑞穂町子ども計画構成(案)について説明があったが、意見はあるか。</p>   |
| (事務局)                 | <p>今回はお知らせという形で示させていただく。</p>  |
| <b>4 その他</b><br>(事務局) | <p>今後のスケジュールについて</p> <p>次回の会議日程は9月30日(月)18:30から庁舎1階ホールにて開催を予定している。また、今後の会議日程については</p> <p>5回目 11月1日(金)または5日(火)</p> <p>6回目 12月6日(金)</p> <p>7回目 来年1月</p> <p>8回目 来年2月</p> <p>を予定している。</p> |
| <b>5 閉会</b><br>(副会長)  | <p>今日は子どもの意見聴取の部分が一番盛り上がり、スタンプラリーの話などがでた。</p> <p>事務局から、子どもが社会参画している意識を持ってもらうのが大切だという話もあったが、スタン</p>  |

プラリーは楽しく参加してもらいたい。「みんなの声を町に届けよう」といった分かりやすいメッセージがあると、小さい子でも何かパブリックコメントをしてきたという感覚で参加できて良いと思う。

以上で第3回瑞穂町子ども・子育て会議を終了する。